

第71回日本生物工学会大会 (2019)

会 期 2019年9月16日(月・祝)～18日(水)

会 場 <一般講演・シンポジウム・ランチョンセミナー>

岡山大学 津島キャンパス 一般教育棟 (岡山市北区津島中)

<授賞式・受賞講演> 岡山大学 津島キャンパス 50周年記念館

<懇親会> 岡山ロイヤルホテル (岡山市北区絵図町2-4)

<展示> 岡山大学 津島キャンパス 大学会館

<若手会総会・交流会> 岡山大学 津島キャンパス 南福利施設

大会ホームページ <https://www.sbj.or.jp/2019/>

主なスケジュール

講演申込・要旨受付期間 2019年4月 8日(月)～2019年5月14日(火) 正午

事前参加登録締切日 2019年7月12日(金) 17時

講演要旨集発行日 2019年8月 9日(金) 予定

	9月16日(月・祝)	9月17日(火)	9月18日(水)
午前	授賞式・受賞講演	一般講演・シンポジウム	一般講演・シンポジウム
昼	ランチョンセミナー	ランチョンセミナー	ランチョンセミナー
午後	一般講演 受賞講演 シンポジウム	一般講演 受賞講演 シンポジウム	一般講演 シンポジウム
夜	懇親会	若手会総会・交流会/ ものづくり交流サロン	

参加費

	大会参加費		懇親会費	
	事前	当日	事前	当日
正会員	10,000円	12,000円	10,000円	12,000円
学生会員	6,000円	8,000円	5,000円	6,000円
非会員	15,000円	17,000円	12,000円	14,000円

(消費税を含む。ただし、正会員・学生会員の参加費は不課税。大会参加費は講演要旨集代を含む)

参加申込 大会HPの参加申込画面 (<https://www.sbj.or.jp/2019/registration/>)にて登録をお願いします。お支払いは

①カード決済、②コンビニ決済、③銀行振込(手数料自己負担)が選択できます。

懇親会 2019年9月16日(月)岡山ロイヤルホテル

予定開催時間 18:30～20:30

ランチョンセミナー 2019年9月16日(月)・17日(火)・18日(水)の昼休憩を利用して開催します。詳細は大会HPをご覧ください。

大会中託児について 大会期間中の9月16日(月)・17日(火)・18日(水)には、託児ルームを開設予定です。詳細は大会HPをご覧ください。

各種会議 大会期間中に会議を開催予定の方は、規模に応じて会議室を無料で確保いたしますので大会実行委員会事務局までお問い合わせください。ただし、会場には限りがありますことをご了承ください。

<申込締切日> 2019年8月2日(金)

<問合せ先> E-mail: sbj2019adm@okayama-u.ac.jp

大会実行委員事務局 〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1 岡山大学工学部化学生命系学科内

日本生物工学会2019年度大会実行委員会

<問合せ先> 実行委員会・総務担当 岡山大学 二見淳一郎

E-mail: sbj2019adm@okayama-u.ac.jp

シンポジウム課題およびオーガナイザー

演者などの詳細は後日大会HPに掲載しますのでご覧ください。

1. **次世代のバイオプロセスを拓く複合微生物系精密制御技術**
常田 聡 (早大)・加藤純一 (広島大)・春田 伸 (首都大)
2. **複雑組織製造に必要な基盤技術を考える～バイオリクターの側から～**
長森英二 (大工大)・伊藤大知 (東大)
3. **微生物ダークマターとマイクロバイオータ研究が導く新しい生物学**
花井泰三 (九大)・青柳秀紀 (筑波大)・石井正治 (東大)
4. **大規模な遺伝子・ゲノムを扱うツールとしての接合伝達システムの開発と展望**
板谷光泰 (慶大)
5. **持続可能な開発目標を目指したバイオセンシングの開発と展開《国際シンポジウム》**
朴 龍洙 (静岡大)・民谷栄一 (阪大)
6. **酵母におけるアミノ酸研究の新展開**
高木博史 (奈良先端大)・水沼正樹 (広島大)
7. **培養計測の最近のトピックス～スタートアップ企業による新たな取り組み～【本部企画】《国際シンポジウム》**
富田悟志 (エイブル)・佐久間英雄 (丸菱バイオエンジニアリング)・今井泰彦 (キッコーマン)・児島宏之 (味の素)・安原貴臣 (アサヒグループホールディングス)
8. **微生物ポリアミンが支える高齢化社会の生活**
藤原伸介 (関西学院大)・栗原 新 (石川県大)
9. **日本におけるバイオジェット燃料生産技術の最先端**
乾 将行 (RITE)
10. **新しいデータ駆動型サイエンスによる複雑な生命現象の理解**
青木 航 (京大)・植田充美 (京大)
11. **生合成工学における有用生体機能分子の次世代創製技術**
荒川賢治 (広島大)・丸山千登勢 (福井県大)
12. **生体と対話するナノ界面科学**
梅津光央 (東北大)・吉野知子 (農工大)・大河内美奈 (東工大)
13. **微生物による物質生産の新展開**
清水 浩 (阪大)
14. **食農工業の持続的発展を牽引する次世代植物バイオテクノロジー**
岡澤敦司 (阪府大)
15. **持続可能な開発目標 (SDGs) を生物学にどう活用するか【本部企画】**
安原貴臣 (アサヒグループホールディングス)・児島宏之 (味の素)・田口精一 (東農大)・高木 忍 (ノボザイムズ ジャパン)・今井泰彦 (キッコーマン)
16. **ペアで紹介します, WetとDryの融合研究**
堀之内貴明 (理研)・児島孝明 (名大)
17. **タンパク質工学におけるドライーウェット技術融合の新展開**
今中洋行 (岡山大)
18. **物質生産や代謝制御における呼吸鎖の役割**
川向 誠 (島根大)
19. **食品成分が腸内環境に及ぼす影響**
北垣浩志 (佐賀大)・中山二郎 (九大)
20. **世界を目指す日本の酒類【本部企画】**
堤 浩子 (月桂冠)・山田 修 (酒総研)・高瀬良和 (霧島酒造)
21. **In silico タンパク質設計で加速するタンパク質工学・応用構造生物学**
三原康博 (味の素)・杉森大助 (福島大)・伊藤創平 (静岡県大)
22. **動物細胞培養の新研究領域への挑戦～学問の境界領域で起こるイノベーションを目指して～**
蟹江 慧 (名大)・堀江正信 (京大)・岩井良輔 (岡山理大)・曾宮正晴 (阪大)
23. **産業化を目指した生体分子工学の新たな潮流**
座古 保 (愛媛大)・上田 宏 (東工大)・神谷典穂 (九大)

講演申込と要旨受付

講演申込・要旨受付期間

2019年4月8日（月）～5月14日（火）正午（締切厳守）

申込資格 一般講演の発表者は2019年会費既納の本会正会員または学生会員に限ります（1人1演題のみ）。講演申込には発表者の会員番号が必須となり、会員番号がない場合には登録できません。必ず事前に入会手続きをお願いします。会員番号は入会登録と会費の入金確認ができ次第お知らせしますが、1週間程度かかりますので早めの手続きをお願いします。入会はHP「入会案内」<https://www.sbj.or.jp/join/>よりできます。なお、会員番号が不明の場合は、事務局（info@sbj.or.jp）にお問い合わせください。

発表形式 本年度の一般講演・シンポジウムは口頭発表形式で行います。パソコンからプロジェクターへの映写としますので（音声の出力には対応していません）、発表者はパソコンをご持参ください。プロジェクターはVGA端子（ミニD-sub 15ピン）にしか対応していません。現在、多くのパソコンにVGA端子が標準搭載されていませんので、変換ケーブルが必要な場合は必ずご自身で持参してください。講演時間は1題につき、12分（発表9分、討論2分30秒、交代時間30秒）の予定です。プレゼンテーション用のスライドのサイズ（横と縦の比）は4：3で作成してください。16：9で作成すると正しく表示できない場合があります。また、原則として、少なくとも18ポイント、できれば24ポイント以上の文字サイズの使用を推奨します。文章・図表は、緑と赤の区別の難しい人がおられることを配慮して、この色の組合せは極力避けてください。

試写室はありませんが、一般講演では座長交代（約6件ずつ）のタイミングにあわせて現場で簡単に接続確認ができる時間を設定する予定です。発表者は余裕を持って講演会場にお越しください。また、当日のパソコンの不具合に備えて、データのバックアップを入れたUSBメモリを必ずご準備ください。当日、車いすでの発表など、補助が必要な方は大会実行委員（sbj2019adm@okayama-u.ac.jp）までお早めにご相談ください。

受付期間 2019年4月8日（月）～5月14日（火）正午まで（延長なし）。

講演申込と要旨登録は同時に締め切ります。締め後は、理由の如何を問わず、新規申込、要旨を含む内容修正はできません。終了前はアクセスが集中し、申込できない場合がありますので、早めの申込をお願いします。

申込・要旨登録方法

以下の手順に従ってお申し込みください。本会大会は講演申込時点で講演要旨の登録が必要です。

- ① まず、<参加申込>画面で参加申込を行ってください。折り返し「参加申込番号（ID:例E0001）」と「パスワード」が送付されます。
- ② 次に、<一般講演申込>画面で、「参加申込番号（ID）」と「パスワード」でログインし、下記の注意事項を参考に講演要旨の登録をしてください。
- ③ 要旨の登録が完了すると、画面に「受付番号」が表示されます。受付番号は必ず記録、保存をお願いします。トラブル発生時の問合せに必要となります。なお、講演申込・要旨の登録システムに関して不明な点は<株式会社ダイナコム（sbj2019@dynacom.co.jp）>にお問い合わせください。

要旨入力画面での諸注意 ※入力の際には画面の注意事項をよくお読みください。

■**文字数** タイトルは、全角100文字（半角200文字）、著者名および所属略称は全角200文字（半角400文字）、要旨本文は全角770文字（半角1540文字）以内に収めてください（スペース含む）。著者名は、必ず個人名（フルネーム）を記入してください（団体名等は受け付けません）。日本語で発表する場合は、タイトル、著者名、所属略称の英語表記が必要です。入力フォームの表示に従って文字数をご確認ください。

■**所属略称** 英文・和文ともに紛らわしくない限り短い省略形とし、1) 大学院→院、2) 大学院しかない場合は院も省略（例：奈良先端大・バイオ）、3) センター→セ、4) 研究所→研、5) 市立、府立、県立の「立」は削除、6) 企業の場合、（株）は不要、7) Graduate School of Biotechnology→Grad. Sch. Biotechnol.、8) 通称がある場合は使用（例：ICBiotech.）。

■**分類コード** 第1、第2希望ともに選択してください。どうしても第2希望で該当するものがない場合には、第1希望と同じものを選択してください。

■**キーワード** キーワード欄の横ボタンで一覧表が表示されますので選択してください。一覧表にない場合は、手動で入力ください。途中に空欄を作らないように上から順番に英語で、1つは必須で4つまで可能です。

■**大会トピックス公開の希望** 本会では、年次大会を優れた研究成果や産学官の会員の貴重なシーズの公開の場と位置づけ、将来性や実用化が期待される講演発表についてマスコミ等の報道により研究成果やシーズを広く公開していく方針です。シーズ等公開の希望、取材対応の可否、アピール点をご申告ください。「大会トピックス公開の希望」でYesに付けられた発表から、実行委員会において30題程度のトピックスを選定し、全国TLO、バイオビジネスシーズに関心のある団体等に公表する予定です。大会トピックスに選定された演題については、以下の対応を行っていただくことになります。

- ・大会実行委員の選定による「トピックス集」への原稿作成
- ・本会大会前に実施する記者発表会における研究内容の公開
- ・新聞社等のマスコミからの問合せや取材への対応

また、大会トピックスの中から複数の演題を「トピックス賞」として選定し、大会実行委員長名で表彰します。

■**備考（通信欄）** 発表者が20人を超える場合や氏名の漢字など、印刷時の希望事項などをお書きください。文字数は全角200文字以内でお願いします。なお、最終的には大会実行委員会の判断で、ご希望に沿えない場合もありますのでご了承ください。

分類コード

技 術 分 野		対 象	
分 野	第1希望, 第2希望の選択項目		
遺伝学, 分子生物学 および遺伝子工学	1 分類, 系統, 遺伝学	原核微生物	システムバイオロジー
	2 遺伝子工学	真核微生物	ナノバイオテクノロジー
酵素学, タンパク質工学 および酵素工学	3 酵素学, 酵素工学	酵母	マイクロアレイ
	4 タンパク質工学	糸状菌	ゲノミクス
	5 抗体工学	アーキア	プロテオミクス
代謝生理学・発酵生産	6 発酵生理学, 発酵工学	特殊環境微生物	メタボロミクス
	7 代謝工学	光合成微生物	ケミカルバイオロジー
	8 オミクス解析	藻類	バイオイメージング
醸造・食品工学	9 醸造学, 醸造工学	植物細胞	PCR
	10 食品科学, 食品工学	動物細胞	分子育種
環境バイオテクノロジー	11 環境浄化, 修復, 保全技術	植物	情報伝達
	12 環境工学, 廃水処理技術	動物	培養制御
	13 バイオマス, 資源, エネルギー工学	有機酸	固定化
生物化学工学	14 生物化学工学	乳酸	分離, 精製
	15 培養工学	脂質	
	16 バイオプロセス	糖, 糖鎖	組織培養
植物バイオテクノロジー	17 植物細胞工学, 組織培養, 育種工学	核酸, ゲノム	組織, 器官
		プラスミド, ファージ	医薬, 医薬品
動物バイオテクノロジー	18 生体医用工学 19 セル&ティッシュエンジニアリング	RNA, RNAi	食品
		生理活性物質	免疫
バイオ情報工学	20 生体情報工学, バイオインフォマティクス 21 システムバイオロジー	抗生物質	生態工学
		アミノ酸	CO ₂
分析計測化学	22 バイオセンシング, 分析化学 23 センサー, 計測工学	ペプチド	H ₂
		生体高分子	エタノール
生体関連化学	24 生合成, 天然物化学 25 有機化学, 高分子化学	タンパク質	
		抗体	難分解物質
生体分子工学	26 核酸工学 27 ペプチド工学 28 脂質工学 29 糖鎖工学	酵素: 糖質関連	生分解物質
		酵素: ペプチド・アミノ酸関連	廃棄物
		酵素: 脂質関連	水
		酵素: その他	土壌 その他

参加費支払い方法

大会参加費のお支払いは、①カード決済、②コンビニ決済、③銀行振込（手数料自己負担）から選べます。手順は以下の通りです。

- 1) 参加申込画面にて登録を行い、支払い方法を選択してください。会員番号は会誌送付ラベルをご参照ください。
- 2) 参加申込番号とパスワードが記載された確認メールが届きます。
- 3) カード決済とコンビニ決済は、確認メールに記載のURLから決済画面に進み、参加申込番号とパスワードでログインしてください。銀行振込を選択された方は、メールに記載された口座にお振り込みください。

※振込票は送付されません。

※懇親会参加のみ、要旨集のみの申込も参加申込画面にて受け付けます（要旨集の発送は大会終了後となります）。

【領収証等について】

※参加章（懇親会に参加される場合は、懇親会参加章も）および領収証は、参加費の入金確認後、8月9日（金）以降に要旨集に同封でお送りいたします。

※紛失等による領収証の再発行はいたしません。